

ようこそ! 「第15回ブナ文化フォーラム」へ。 当、「蔵王」主幹で開催!



蔵王大黒天展望台からの眺望を楽しみ、パラダイス、片貝沼、うつぼ沼と巡り、新緑のブナ(樹齢200年が大半とか)原生林の中で動植物観察を行い、ドッコ沼へ下りて昼食。お天気は最高の「倫理晴れ?」。



県内に住んでいた日本猿がなんと師の幅広いフィールド研究から「ナルほど!」とうなずく話ばかり方からの懇親会にはゲストとし、「山形の民話を聞く会」開催。ソクの炎に揺れる会場内、6つでした。

本番は、民謡東北チャンピオンな盛り上がりとなり、蔵王の宵は

明けて27日、ホテル前庭で恒例のラジオ体操と「モーニングセミナー」を開き、三浦方面長、桜井寒河江市倫理法人会長の講話があり、朝食後散会。

希望者9名、10時過ぎのバスにて刈田駐車場に。「お釜～馬の背～熊野岳～地藏山」とトレッキング。案内いただいたガイドの折原様から気象条件の厳しい高山の中で育つ植物類や、地形、蔵王の歴史など紹介いただきながら、雪渓の上の歩き方も指導いただき、併せて、進む蔵王の環境破壊についても学びました。

私たちが何気なく積み上げるケルン石積み、結果的に斜面を流れる雨水を緩やかに流す働きをしている石を取り去っていることになることをはじめ、冬季の雪上車キャタピラが地表を傷めていることや、登山道整備として行政が行っている石畳の道は、雨降りの時には雨水排水路となって滝の水の流れになってえぐられ、逆に環境破壊を進めていることなど、ショッキングな事実も目の前で見せつけられました。反面、夏場それぞれのロープウェイ運転間隔を取り、事実上の入山制限を行っていることなど、表にでないことも学びました。



所々に咲き始めた「みね桜」が新緑の林の中に咲き始め、ちょうど見頃でした。講演会会場「蔵王ルーセントホテル」へ戻り、近県倫理法人会会長の話があり、「山形の野生動物を考える会」代表、東英生獣医師の講話「野生動物から、人を見る」があり、人間社会との共生について学び、講師自らつくった「猿社会」の釣り合い実験、



岩手県で生息していたことなど、講興味深い事例紹介があり、思わず、り。

して「語り部」大類孝子様をお迎え「昔々あったけどさ・・・」、ロー話を全員しーんとなり、聞き惚れました。

石井弥生さんも飛び入り出演、大変更けていきました。

当初刈田駐車場到着時、荒天で「こりゃ中止?」の感じでしたが、視界も先が全く見えず、歩行困難な場合が多々あった強風の登山道を、標識を頼りに先ずは全員無事下山。お地藏前で晋道上市倫理法人会会長が鳴らす、「県内会員千社達成!祈願」の「鐘」の音が印象的でした。

今回のプロジェクトに全面的な協力をいただいた青山前専任幹事、はじめ準備にあられた役員の皆様に深く感謝申し上げますとともに、貴重な体験を得ることが出来ましたことを、深く感謝いたします。

(次号、6月6日開催された平成19年度倫理講演会を紹介。) 以上